



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ルネサンス 上場取引所 東  
 コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岡本 利治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞 (TEL) 03-5600-7811  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,889	12.7	96	89.5	24	—	6	—
2022年3月期第2四半期	17,650	40.7	51	—	△133	—	△83	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △104百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △99百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	0.33	—
2022年3月期第2四半期	△4.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	39,314	10,141	25.8
2022年3月期	38,189	10,321	27.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,141百万円 2022年3月期 10,318百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
2023年3月期	—	4.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	41,000	10.5	1,000	9.5	700	10.6	550	29.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、直近に公表されている業績予想(2022年5月10日公表)を修正しております。

詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料3ページ)「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」並びに本日(2022年11月11日)公表の「2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	21,379,000株	2022年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,490,706株	2022年3月期	2,490,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	18,888,294株	2022年3月期2Q	18,888,294株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)においては、新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」といいます)の感染拡大防止における行動制限が緩和され、スポーツクラブ事業における新規入会者数が順調に推移したこと等から、売上高は予想を上回る水準で推移しました。コストの面では、資源価格の高騰による光熱費の上昇が想定以上の水準となりました。なお、8月に2施設、11月に1施設開業した総合型スポーツクラブの開業費用等を含んでおります。この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高198億89百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益96百万円(前年同期比89.5%増)、経常利益24百万円(前年同期より1億58百万円改善し黒字化)、親会社株主に帰属する四半期純利益6百万円(前年同期より89百万円改善し黒字化)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本感染症の第7波が到来しましたが、感染拡大の抑制と社会経済活動の両立を目指す方針により、緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢等による資源価格や原材料価格の高騰、急速な円安の進行による物価上昇が個人消費に与える影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは「生きがい創造企業」という企業理念のもと、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を長期ビジョンに掲げ、人生100年時代の到来とともに重要性が高まる、生涯現役で働くための健康維持・増進や、医療費等の社会保障費の抑制につながる“治療から予防へ”の取り組みを通じ、健康長寿社会の実現及び地域の社会課題の解決に取り組んでまいりました。

スポーツクラブ事業では、フィットネス会員の新規入会者数が好調に推移したことから、当第2四半期連結会計期間末の在籍会員数は、360,848名(うちオンライン会員数25,305名)(前年同期比11.3%増)と、前年を上回る結果となりました。販売促進においては、プール、お風呂、サウナ等の総合型スポーツクラブならではのアイテムを訴求し、好評をいただきました。また、10の既存施設においてジムのフリーウェイトゾーンの拡充を中心としたリニューアルを実施し、顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。一方、政府の節電要請を受け、7月から9月までの期間、節電対策に取り組んでまいりましたが、資源価格の高騰による光熱費の上昇は想定を上回る水準となりました。なお、当第2四半期連結累計期間においては、8月に開業した「スポーツクラブ ルネサンス・イオンタウンふじみ野24」(埼玉県ふじみ野市)と「スポーツクラブ ルネサンス 海老名ビナガーデンズ24」(神奈川県海老名市)、11月に開業した「スポーツクラブ ルネサンス 蒔田24」(神奈川県横浜市)の、総合型スポーツクラブ3施設の開業費用を計上しております。

介護リハビリ事業では、リハビリ特化型デイサービス「元氣ジム」等において、利用者の身体機能の改善を通じたQOL(Quality of life)の向上に取り組む、売上高は前年同期比13.1%増となりました。当連結会計年度においては「元氣ジム」FC加盟店の拡大に向けた営業及び支援体制の強化を行っており、5月に「ルネサンス 元氣ジム大泉学園」(東京都練馬区)、7月に「ルネサンス 元氣ジムいわき中央台」(福島県いわき市)、9月に「ルネサンス 元氣ジム鹿児島中央」(鹿児島県鹿児島市)の3施設を新規開設しました。また、当社がこれまで取り組んできた運動プログラム及び個別機能訓練加算並びに口腔機能向上加算の取得ノウハウを、他の通所介護施設に向けて提供する新たなサービス「R-Smart」の販売を、10月より開始しました。本サービスを通じて、通所介護施設の利用者の身体機能向上による顧客満足度向上の促進と業務効率化による職員の満足度向上を目指してまいります。

企業・健康保険組合に向けた事業では、オンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream(以下「ROL」といいます)」において、レッスンの増設や新たなプログラムの導入並びに定員数の拡大を行い、より多くの方が場所を問わず気軽に健康づくりができるよう、サービスの拡充に取り組んでまいりました。また、住友生命「Vitality」会員の利用が順調に増加するなど、企業・健康保険組合を通じたROLの提供機会が広がっております。法人向けサービスの開発においては、新たなプログラム「転倒災害予防のための『からだチェック&エクササイズ』」の提供を9月より開始し、従業員が安全に働ける環境や身体づくり等、健康経営を支援する取り組みを強化してまいりました。

自治体に向けた事業では、総務省が支援する「地域活性化起業人制度」等を通じて16の自治体へ当社従業員を派遣し、地域が抱える健康課題の解決、派遣先自治体のPR、派遣先となる拠点施設における健康に関する住民の支援に係る企画等に取り組んでまいりました。また、小中学校におけるプール施設の老朽化に伴う維持管理費の増加や水泳授業に係る教員の負担、天候の影響による授業回数の確保等、学校の水泳授業を取り巻く課題解決の取り組みとして、当第2四半期連結累計期間において、20の自治体にて水泳授業を実施しました。今後も水泳学習や部活動等、子どもの豊かな学校生活の実現に向けた支援に取り組んでまいります。

ベトナム国におけるスポーツクラブ事業においては、ベトナム政府のwithコロナ政策と本感染症の状況の改善に伴い、消費活動が活発化しております。ハノイ市及びビンズオン省の2施設とともに、当第2四半期連結累計期間における新規入会者数及び在籍会員数は順調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間においては下表の施設を新規開設、退店した結果、株式会社BEACH TOWNの施設を含む当第2四半期連結会計期間末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ130施設（直営104施設、業務受託24施設、ルネサンス ベトナム2施設）、スタジオ業態2施設、介護リハビリ39施設（直営29施設、フランチャイズ10施設）、アウトドアフィットネス16施設（直営6施設、業務受託10施設）の計187施設となりました。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2022年5月	ルネサンス ケアステーション戸塚（神奈川県横浜市）	介護リハビリ（直営）
2022年5月	ルネサンス 元氣ジム大泉学園（東京都練馬区）	介護リハビリ（FC）
2022年5月	ATHLETA ATHLETIC CLUB（東京都墨田区）	アウトドアフィットネス（業務受託）
2022年6月	BEACHTOWN HIBIYA PARK（東京都千代田区）	アウトドアフィットネス（直営）
2022年7月	ルネサンス 元氣ジムいわき中央台（福島県いわき市）	介護リハビリ（FC）
2022年8月	スポーツクラブ ルネサンス・イオンタウンふじみ野24（埼玉県ふじみ野市）	スポーツクラブ
2022年8月	スポーツクラブ ルネサンス 海老名ビナガーデンズ24（神奈川県海老名市）	スポーツクラブ
2022年9月	ルネサンス 元氣ジム鹿児島中央（鹿児島県鹿児島市）	介護リハビリ（FC）
退店・受託終了時期	施設名	施設形態
2022年6月末	ドゥミ ルネサンス ライブストリームスタジオ池袋東口店（東京都豊島区）	スタジオ業態（新業態）
2022年6月末	フィットネススタジオ ルネサンス五反田（東京都品川区）	スタジオ業態（新業態）
2022年7月末	Community Park KOBE（兵庫県神戸市）	アウトドアフィットネス（直営）
2022年8月末	スポーツクラブ ルネサンス 海老名（神奈川県海老名市）	スポーツクラブ（業務受託）
2022年9月末	リーヴ新百合ヶ丘フットサルクラブ（神奈川県川崎市）	その他（業務受託）

また、第3四半期連結会計期間以降は、下表の施設の新規開設を予定しております。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2022年11月	スポーツクラブ ルネサンス 蒔田24（神奈川県横浜市）	スポーツクラブ
2022年12月	ルネサンス リハビリセンター蒔田（同上）※	介護リハビリ（直営）
2022年12月	ルネサンス リハビリステーション蒔田（同上）※	介護リハビリ（直営）
2023年 夏	スポーツクラブ ルネサンス 仙台卸町（仮称）（宮城県仙台市）	スポーツクラブ
2023年 秋	スポーツクラブ ルネサンス 光の森24（仮称）（熊本県菊陽町）	スポーツクラブ
2023年 秋	スポーツクラブ ルネサンス・イオンモール座間24（仮称）（神奈川県座間市）	スポーツクラブ

※「スポーツクラブ ルネサンス 蒔田24」に併設

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加し、393億14百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したこと等により流動資産合計が7億21百万円減少した一方、リース資産が増加したこと等により固定資産合計18億47百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ13億5百万円増加し、291億73百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方、流動負債その他が減少したこと等により流動負債合計が29百万円増加したこと、及びリース債務が増加したこと等により固定負債合計が12億76百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少し、101億41百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6百万円を計上したこと、配当金75百万円を支払ったことにより利益剰余金が69百万円減少したこと、また、為替換算調整勘定が1億10百万円減少したこと等によりその他の包括利益累計額合計が1億7百万円減少したことによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は41億41百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間△81百万円（前年同期5億56百万円）

営業活動の結果減少した資金は、△81百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益19百万円、減価償却費10億43百万円（前年同期比3.3%減）、未払消費税等の減少額11億19百万円によるものです。

#### ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間△16億72百万円（前年同期△12億52百万円）

投資活動に使用した資金は、16億72百万円（前年同期比33.5%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出17億3百万円（同41.3%増）によるものです。

#### ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間11億50百万円（前年同期△4億36百万円）

財務活動に得られた資金は、11億50百万円となりました。これは主に長期借入による収入12億円（前年同期比20.0%減）、短期借入金純増加額8億50百万円、セール・アンド・リースバックによる収入5億51百万円、長期借入金の返済による支出10億51百万円（同0.1%増）、リース債務の返済による支出3億16百万円（同7.6%増）によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までの状況および今後の見通し等を勘案したうえで、2022年5月10日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,841,060	4,128,743
売掛金	1,051,987	1,045,498
商品	243,628	257,252
その他	1,546,070	1,530,675
貸倒引当金	△8,295	△9,338
流動資産合計	7,674,451	6,952,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,902,554	6,105,443
リース資産(純額)	9,075,334	10,144,747
その他(純額)	2,332,904	2,732,712
有形固定資産合計	17,310,793	18,982,903
無形固定資産		
投資その他の資産	635,537	544,089
敷金及び保証金	8,458,356	8,814,734
その他	4,109,903	4,020,082
投資その他の資産合計	12,568,260	12,834,817
固定資産合計	30,514,590	32,361,810
資産合計	38,189,042	39,314,641
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	60,482	47,413
短期借入金	1,850,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,103,084	2,303,084
未払法人税等	332,476	182,471
賞与引当金	493,778	691,466
資産除去債務	25,846	—
その他	4,818,517	3,789,410
流動負債合計	9,684,185	9,713,846
固定負債		
長期借入金	4,874,805	4,823,263
リース債務	9,456,574	10,506,399
退職給付に係る負債	825,151	842,226
資産除去債務	1,308,481	1,348,417
その他	1,717,908	1,938,929
固定負債合計	18,182,920	19,459,235
負債合計	27,867,105	29,173,082

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	4,813,515	4,813,515
利益剰余金	5,936,804	5,867,562
自己株式	△2,514,753	△2,514,753
株主資本合計	10,445,945	10,376,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,176	5,341
為替換算調整勘定	△95,557	△206,358
退職給付に係る調整累計額	△37,934	△34,129
その他の包括利益累計額合計	△127,316	△235,146
非支配株主持分	3,306	—
純資産合計	10,321,936	10,141,558
負債純資産合計	38,189,042	39,314,641



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	17,650,882	19,889,005
売上原価	16,507,985	18,693,893
売上総利益	1,142,896	1,195,112
販売費及び一般管理費	1,091,877	1,098,438
営業利益	51,019	96,674
営業外収益		
受取利息	4,938	4,462
為替差益	16,314	135,152
その他	25,001	15,638
営業外収益合計	46,253	155,253
営業外費用		
支払利息	189,081	205,569
その他	41,521	21,573
営業外費用合計	230,602	227,143
経常利益又は経常損失(△)	△133,329	24,785
特別利益		
固定資産売却益	129	13
雇用調整助成金	145,937	—
助成金収入	422,515	—
特別利益合計	568,582	13
特別損失		
固定資産除却損	7,250	1,984
店舗閉鎖損失	—	3,000
店舗休止損失	392,387	—
その他	319	—
特別損失合計	399,957	4,984
税金等調整前四半期純利益	35,295	19,814
法人税、住民税及び事業税	39,657	44,168
法人税等調整額	79,258	△27,359
法人税等合計	118,915	16,809
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83,619	3,005
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,306
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△83,619	6,311

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83,619	3,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	427	△834
為替換算調整勘定	△20,438	△110,800
退職給付に係る調整額	3,872	3,805
その他の包括利益合計	△16,138	△107,829
四半期包括利益	△99,757	△104,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,757	△101,518
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,306

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,295	19,814
減価償却費	1,079,608	1,043,724
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,210	22,560
長期未払金の増減額 (△は減少)	△42,911	374,927
賞与引当金の増減額 (△は減少)	51,699	187,050
固定資産売却益	△129	△13
固定資産除却損	7,250	1,984
受取利息及び受取配当金	△5,003	△4,595
雇用調整助成金	△145,937	—
助成金収入	△422,515	—
支払利息	189,081	205,569
売上債権の増減額 (△は増加)	28,267	6,489
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,229	△1,577
前払費用の増減額 (△は増加)	△41,223	△122,486
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,376	△13,068
未払金の増減額 (△は減少)	△650,736	△40,969
未払費用の増減額 (△は減少)	△40,839	△7,227
前受金の増減額 (△は減少)	△5,095	30,065
未払消費税等の増減額 (△は減少)	496,820	△1,119,101
その他	26,664	△398,658
小計	573,654	184,487
利息及び配当金の受取額	130	178
利息の支払額	△197,192	△206,625
雇用調整助成金の受取額	116,126	—
助成金の受取額	105,065	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△41,611	△59,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,171	△81,374

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,205,185	△1,703,294
有形固定資産の売却による収入	130	13
無形固定資産の取得による支出	△58,509	△41,783
長期貸付金の回収による収入	49,439	40,137
敷金及び保証金の差入による支出	△14,342	△241,610
敷金及び保証金の回収による収入	40,394	285,779
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27,869	—
その他	△36,920	△11,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,252,863	△1,672,351
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△550,000	850,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,050,860	△1,051,542
リース債務の返済による支出	△293,965	△316,291
配当金の支払額	△39,142	△76,267
セール・アンド・リースバックによる収入	—	551,489
その他	△2,293	△6,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436,261	1,150,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,438	△110,800
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,153,390	△713,819
現金及び現金同等物の期首残高	7,095,721	4,855,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,942,330	4,141,976

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。